



【一般公開講義】

「異文化とどのようにつきあうか」

～ポリグロット詩人としての生き方～

名古屋学院大学国際文化学部では、4月27日(金) 15時05分～16時35分、本学名古屋キャンパスしろとり曙館3階303教室にて、英独バイリンガルのオーストリア詩人 アン・コッテン (Ann Cotten) 氏を招聘し、公開講義を実施します。一般の方も入場無料・事前予約不要でご参加いただけます。

【講義の内容】

「文化交流論」(担当教員: 木村 光伸) にて、文化発展の地域的な違いと異文化間の交流の現状に対する理解を深めるための話を伺います。

(アン・コッテン氏より)

「文化の越境性による心理学的、哲学的な影響について、また矛盾に満ちた文化的な諸要求を克服しようとする人生と折り合うために、哲学や芸術がどのように役立つのか。さらに『キャンプ(アメリカの作家スーザン・ソントグの概念)』という美学的な概念はその解決法となるのか、あるいは問題となるのかについてお話しします。」

【講師プロフィール】

■ アン・コッテン (Ann Cotten) 氏

1982年アメリカ合衆国アイオワ州生まれの英独バイリンガル詩人。5歳の時に生化学者の両親と一緒にウィーンへ移住し、2006年ウィーン大学独文学を修了。このコンクレートポエジーに関する修士論文が出版され、この時以来作家活動に入る。これまで10冊の詩集・エッセイが大手出版社ズーアカンプ社から刊行される。シャミッソー賞、クロップシュトゥック賞、フーゴ・バル賞など多数受賞し、ドイツ語圏若手作家として著名な詩人となる。現在ベルリンとウィーンを中心に活躍している。今回4度目の来日および滞在となる。名古屋市立大学人文社会学部で2度客員講師として教鞭をとり、詩作と文学理論エッセイを執筆してきた。現在日本語を勉強中。英独語のほか、ロシア語も堪能なポリグロット詩人(“ポリグロット”とは多言語使用者のこと)。



【一般公開講義】異文化とどのようにつきあうか～ポリグロット詩人としての生き方～

■ 開催日時 : 2018年4月27日(金) 15:05～16:35(開場 14:50)

■ 開催場所 : 名古屋学院大学名古屋キャンパスしろとり曙館3階303教室

(〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町1番25号)

※地下鉄名港線「日比野駅」、名城線「西高蔵駅」徒歩約8分 駐車場はありません

■ 定員 : 50名程度(入場無料・事前予約不要)

■ 主催/担当: 名古屋学院大学国際文化学部 / 木村 ^{きむら} ^{こうしん} 光伸 教授